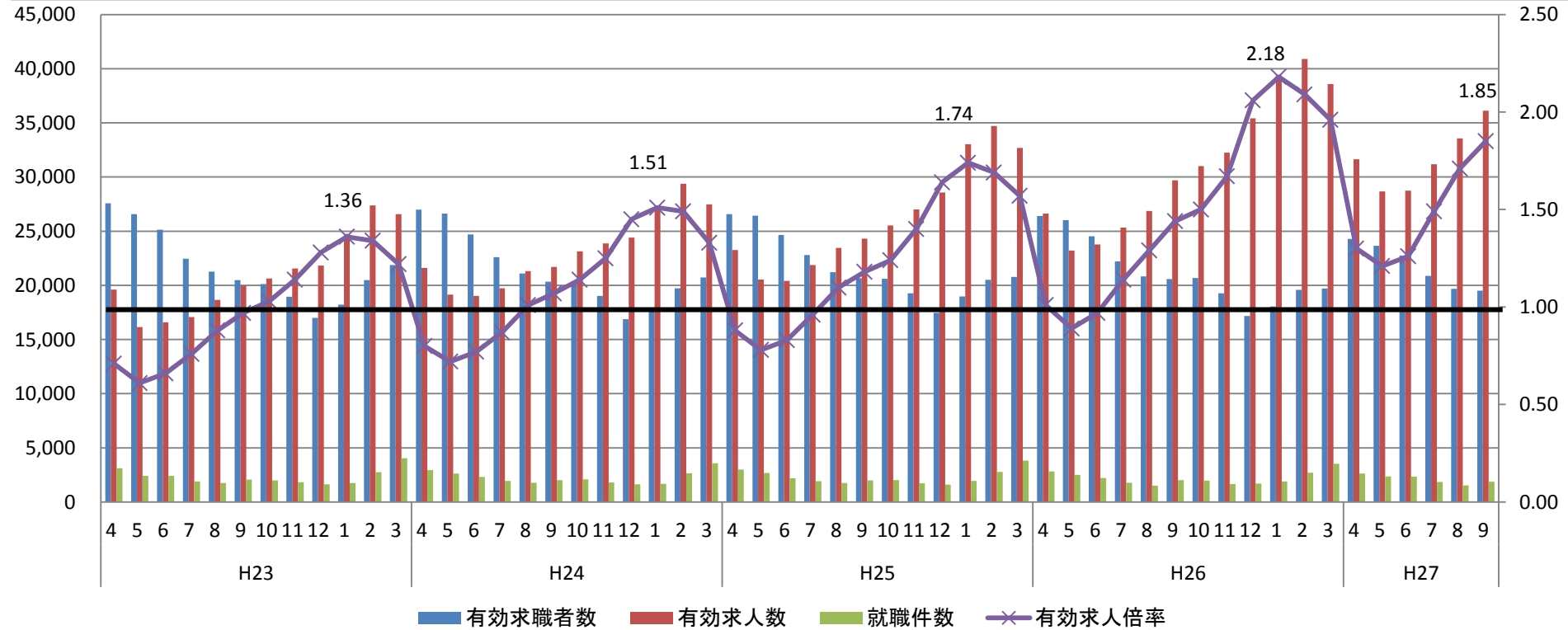


保育士等における現状

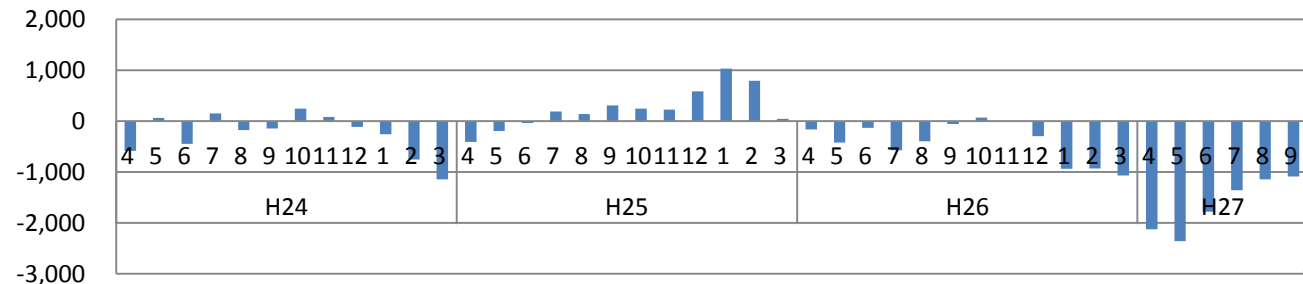
保育士の求人・求職の状況（全国）

- 保育士の有効求人倍率は、毎年1月頃がピークとなっており、平成26年12月～平成27年2月では2倍を超え、年々高くなる傾向。
- 平成27年9月には、保育士の有効求人倍率は1.85倍となっており、今後も例年より高い水準となることが見込まれる。



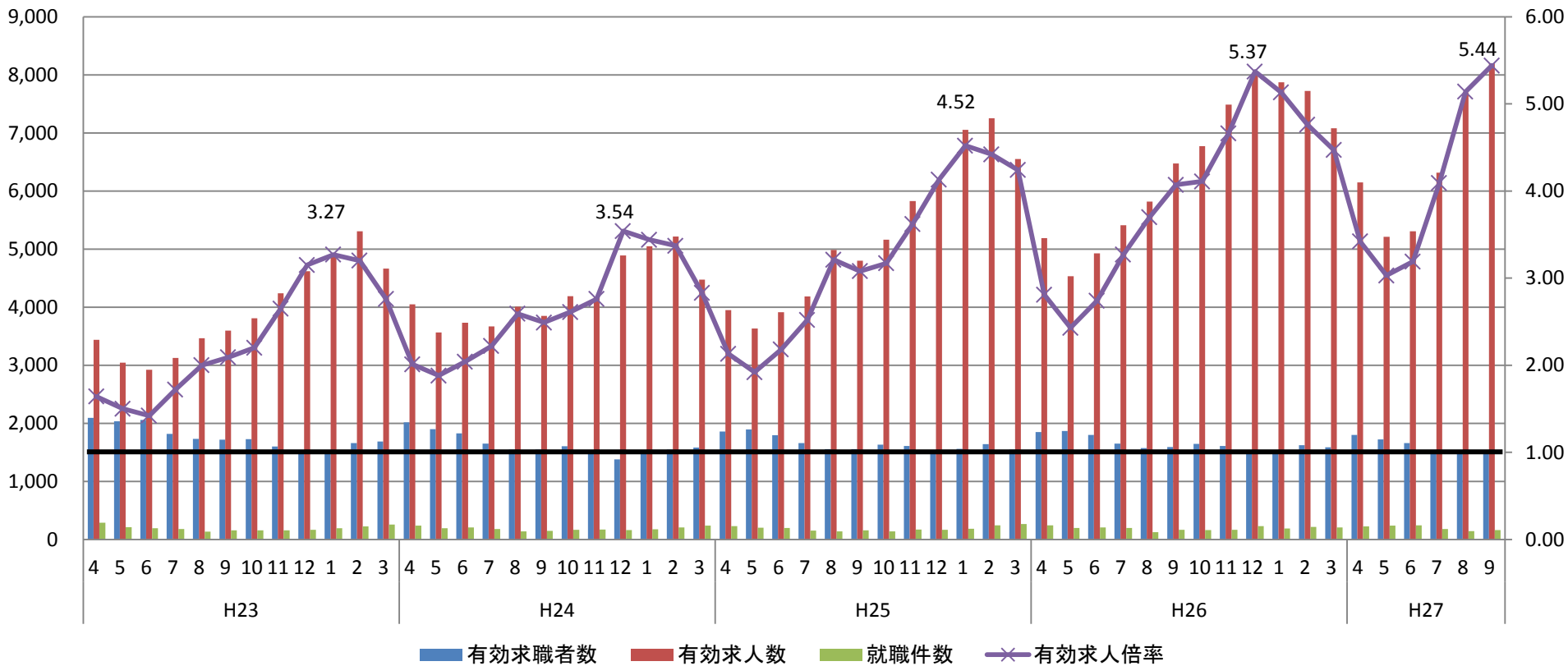
(出典) 一般職業紹介状況(職業安定業務統計)(職業安定局)
 ※各年度において最も有効求人倍率の高かった数値を記載

有効求職者数の対前年増減数(全国)



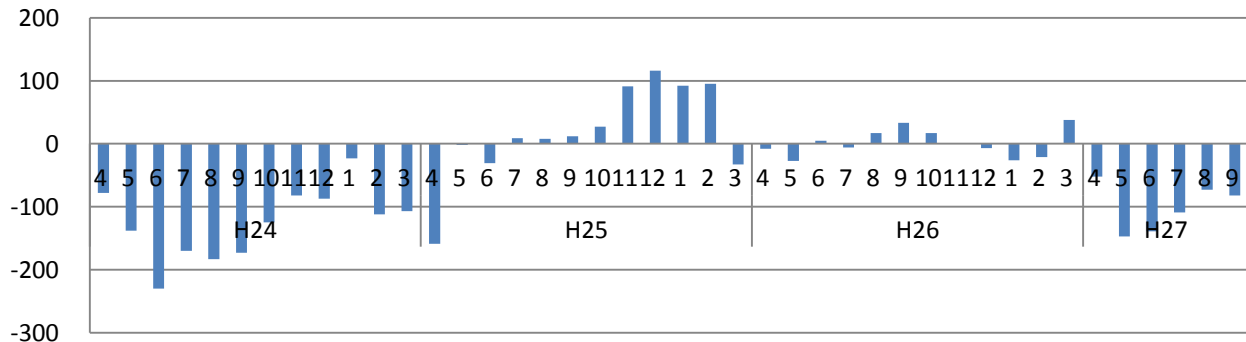
保育士の求人・求職の状況（東京都）

○ 東京都は、全国で最も保育士の有効求人倍率が高く、平成26年12月～平成27年1月、平成27年8～9月は5倍を超える状況。



(出典) 一般職業紹介状況(職業安定業務統計)(職業安定局)
 ※各年度において最も有効求人倍率の高かった数値を記載

有効求職者数の対前年増減数(東京都)



平成26年及び平成27年における各都道府県別有効求人倍率等の比較（各年9月時点）

平成26年9月時点

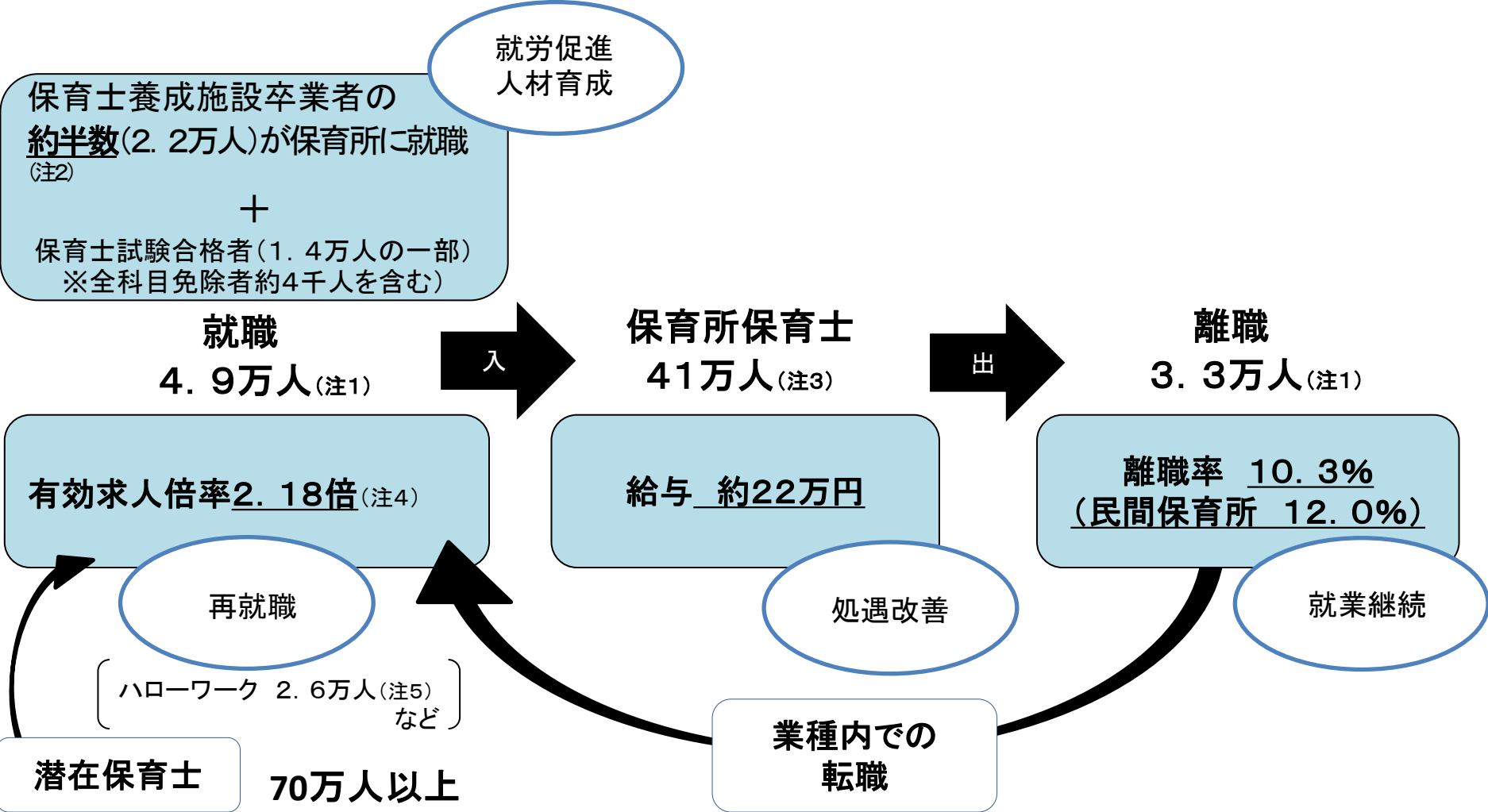
	新規求職申込件数	有効求職者数	新規求人数	有効求人数	有効求人倍率
全国	4,897	20,591	11,604	29,684	1.44
北海道	246	1,064	424	1,024	0.96
青森	55	291	132	314	1.08
岩手	74	230	103	268	1.17
宮城	132	451	296	631	1.40
秋田	54	223	71	169	0.76
山形	56	186	88	236	1.27
福島	78	273	163	328	1.20
茨城	87	397	237	667	1.68
栃木	101	331	227	531	1.60
群馬	70	332	97	251	0.76
埼玉	226	985	942	1,637	1.66
千葉	173	728	322	928	1.27
東京	358	1,590	2,452	6,472	4.07
神奈川	237	1,106	536	2,025	1.83
新潟	103	333	142	428	1.29
富山	33	134	112	211	1.57
石川	25	150	102	313	2.09
福井	29	107	59	176	1.64
山梨	24	98	37	74	0.76
長野	63	293	110	264	0.90
岐阜	95	366	166	372	1.02
静岡	125	528	287	613	1.16
愛知	221	1,054	377	1,109	1.05
三重	56	244	115	297	1.22
滋賀	59	215	132	373	1.73
京都	142	519	200	485	0.93
大阪	357	1,525	1,021	2,137	1.40
兵庫	235	997	436	1,066	1.07
奈良	61	232	72	211	0.91
和歌山	28	135	52	176	1.30
鳥取	29	107	75	168	1.57
島根	26	132	47	167	1.27
岡山	73	330	108	373	1.13
広島	118	531	313	994	1.87
山口	64	262	66	162	0.62
徳島	38	130	46	182	1.40
香川	51	175	48	151	0.86
愛媛	55	250	115	244	0.98
高知	32	145	60	155	1.07
福岡	228	1,039	354	1,036	1.00
佐賀	67	232	56	156	0.67
長崎	92	335	114	278	0.83
熊本	103	450	130	363	0.81
大分	63	260	85	210	0.81
宮崎	52	277	113	316	1.14
鹿児島	122	505	209	494	0.98
沖縄	81	314	155	449	1.43

平成27年9月時点

	新規求職申込件数	有効求職者数	新規求人数	有効求人数	有効求人倍率
全国	4,495	19,501	13,225	36,117	1.85
北海道	225	1,066	470	1,332	1.25
青森	36	280	182	435	1.55
岩手	52	209	111	328	1.57
宮城	119	431	364	841	1.95
秋田	35	127	93	232	1.83
山形	59	173	102	264	1.53
福島	81	248	159	389	1.57
茨城	87	318	286	689	2.17
栃木	70	284	230	626	2.20
群馬	68	335	140	335	1.00
埼玉	185	884	1,188	2,368	2.68
千葉	155	701	380	1,320	1.88
東京	328	1,508	2,684	8,196	5.44
神奈川	217	1,025	1,106	2,917	2.85
新潟	89	309	176	480	1.55
富山	34	133	103	229	1.72
石川	31	167	75	259	1.55
福井	17	80	66	159	1.99
山梨	41	151	68	134	0.89
長野	53	283	91	274	0.97
岐阜	86	311	114	353	1.14
静岡	118	471	208	692	1.47
愛知	224	1,111	333	1,036	0.93
三重	51	234	73	232	0.99
滋賀	60	239	167	378	1.58
京都	99	469	215	615	1.31
大阪	314	1,432	711	1,946	1.36
兵庫	210	964	428	1,228	1.27
奈良	53	210	54	252	1.20
和歌山	26	135	211	333	2.47
鳥取	28	125	125	284	2.27
島根	27	121	40	156	1.29
岡山	74	367	141	376	1.02
広島	110	443	480	1,447	3.27
山口	60	269	104	240	0.89
徳島	30	118	78	233	1.97
香川	52	162	96	201	1.24
愛媛	47	239	94	265	1.11
高知	40	162	46	141	0.87
福岡	283	1,072	414	1,170	1.09
佐賀	38	200	58	188	0.94
長崎	66	271	133	369	1.36
熊本	78	351	207	517	1.47
大分	58	263	119	263	1.00
宮崎	69	290	178	418	1.44
鹿児島	149	505	192	451	0.89
沖縄	63	255	132	526	2.06

出典：職業安定業務統計

～ 出入の状況 ～

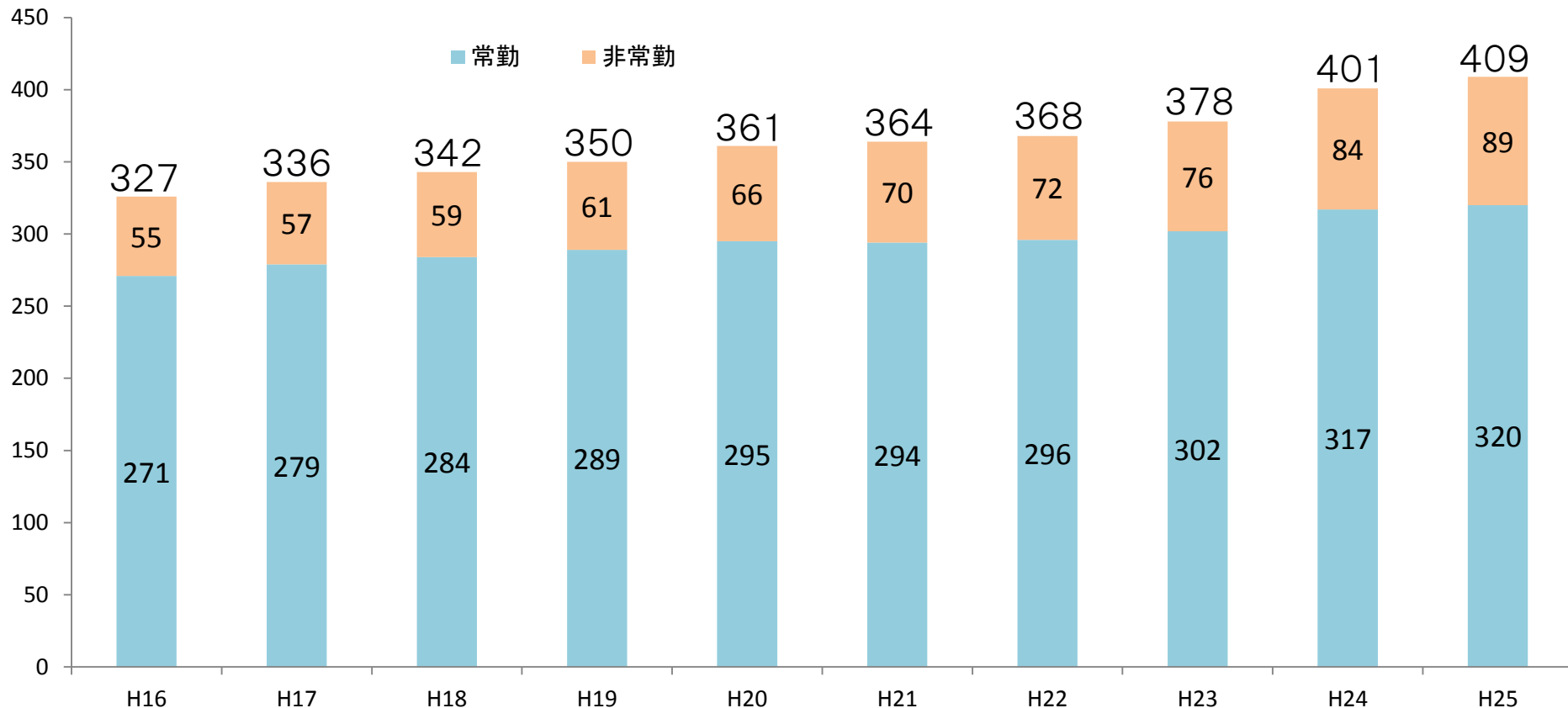


(注1) 常勤の採用者・離職者数 (出典: 平成25年社会福祉施設等調査(厚生労働省統計情報部))
 (注2) 平成26年度末に保育士養成施設を卒業(4.2万人)し、保育所に就職(2.2万人)した者(就職の雇用形態は問わない) (出典: 厚生労働省保育課調べ)
 (注3) 平成25年10月1日時点の保育所保育士数(常勤・非常勤含む実人数の値) (出典: 平成25年社会福祉施設等調査(厚生労働省統計情報部))
 (注4) 平成27年1月時点の数値。 (出典: 一般職業紹介状況(職業安定業務統計) (厚生労働省職業安定局))
 (注5) 平成26年度中の就職件数。 (出典: 一般職業紹介状況(職業安定業務統計) (厚生労働省職業安定局))

保育所に勤務する保育士数の推移（実人数ベース）

○ 平成25年時点において、42万7千人が社会福祉施設等（うち40万9千人が保育所）で勤務しており、約8割の者が常勤で勤務

（単位：千人）



出典：厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査」（各年10月1日）

常勤：施設・事業所が定めた、常勤の従事者が勤務すべき時間数のすべてを勤務している者

非常勤：常勤以外の従事者（他の施設等にも勤務するなど収入及び時間的拘束の伴う仕事をもっている者、短時間のパートタイマー等）

（注1）平成21年以降は調査対象施設のうち回収できなかった施設があるため、平成20年以前との年次比較は適さない。

（回収率 H21:97.3% H22:94.1% H23:93.9% H24:95.4% H25:93.5%）

（注2）平成23年は、東日本大震災の影響で宮城県と福島県の28市町村で調査未実施。

保育士の平均賃金等について

	男女計				男				女			
	構成比	平均年齢	勤続年数	きまって支給する現金給与額	構成比	平均年齢	勤続年数	きまって支給する現金給与額	構成比	平均年齢	勤続年数	きまって支給する現金給与額
全職種	100.0%	42.1歳	12.1年	329.6千円	67.2%	42.9歳	13.5年	365.7千円	32.8%	40.6歳	9.3年	255.6千円
保育士	100.0%	34.8歳	7.6年	216.1千円	6.6%	31.4歳	6.3年	239.4千円	93.4%	35.1歳	7.7年	214.4千円
幼稚園教諭	100.0%	32.4歳	7.8年	231.4千円	3.7%	40.9歳	11.5年	326.7千円	96.3%	32.1歳	7.7年	227.7千円
看護師	100.0%	38.9歳	7.7年	329.0千円	10.0%	36.3歳	6.8年	329.7千円	90.0%	39.2歳	7.8年	329.0千円
福祉施設介護員	100.0%	39.5歳	5.7年	219.7千円	33.6%	36.2歳	5.4年	233.4千円	66.4%	41.2歳	5.9年	212.8千円
ホームヘルパー	100.0%	44.7歳	5.6年	220.7千円	24.8%	39.0歳	4.1年	229.8千円	75.2%	46.6歳	6.1年	217.7千円

(※) きまって支給する現金給与額・・・労働協約又は就業規則などにあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって6月分として支給される現金給与額のこと。手取額でなく、税込み額である。

現金給与額には、基本給、職務手当、精皆勤手当、家族手当が含まれるほか、時間外勤務、休日出勤等超過労働給与も含まれる。

(資料出所) 平成26年賃金構造基本統計調査

(参考) 短時間労働者の賃金(1時間当たり)

	男女計			男			女		
	年齢	勤務年数	賃金	年齢	勤務年数	賃金	年齢	勤務年数	賃金
全職種	45.0歳	5.6年	1,041円	43.4歳	5.1年	1,120円	45.6歳	5.8年	1,012円
保育士	45.6歳	5.4年	980円	38.2歳	12.4年	1,353円	45.6歳	5.3年	977円
幼稚園教諭	44.3歳	5.7年	1,046円	62.0歳	3.7年	1,619円	44.1歳	5.7年	1,039円
看護師	46.5歳	5.6年	1,621円	44.5歳	5.9年	1,757円	46.5歳	5.6年	1,619円
福祉施設介護員	49.2歳	4.4年	1,043円	51.1歳	3.7年	1,166円	48.9歳	4.5年	1,023円
ホームヘルパー	54.1歳	6.4年	1,339円	51.3歳	4.3年	1,385円	54.2歳	6.5年	1,336円

保育士の経験年数、採用・離職の状況

- 経験年数は、経験年数が低い層の保育士が多く、7年以下の保育士が約半分。
- 離職率は10.3%であり、私営保育所においては12.0%となっている。

保育所保育士の経験年数(常勤のみ)

	2年未満	2～4年未満	4～6年未満	6～8年未満	8～10年未満	10～12年未満	12～14年未満	14年以上	不詳	総数
全体	47,392人	43,205人	36,934人	28,773人	23,036人	20,049人	18,248人	88,361人	11,148人	317,146人
うち公営	12,136人	12,439人	11,049人	8,794人	7,834人	7,380人	7,368人	48,731人	4,840人	120,571人
うち私営	35,256人	30,766人	25,885人	19,979人	15,202人	12,669人	10,880人	39,630人	6,308人	196,575人
全体	14.9%	13.6%	11.6%	9.1%	7.3%	6.3%	5.8%	27.9%	3.5%	100.0%
うち公営	10.1%	10.3%	9.2%	7.3%	6.5%	6.1%	6.1%	40.4%	4.0%	100.0%
うち私営	17.9%	15.7%	13.2%	10.2%	7.7%	6.4%	5.5%	20.2%	3.2%	100.0%

保育所保育士の採用者と離職者(常勤のみ)

	勤務者	採用者数	採用率	退職者数	離職率
全体	320,196人	48,733人	15.2%	32,823人	10.3%
うち公営	116,862人	11,904人	10.2%	8,330人	7.1%
うち私営	203,334人	36,829人	18.1%	24,493人	12.0%

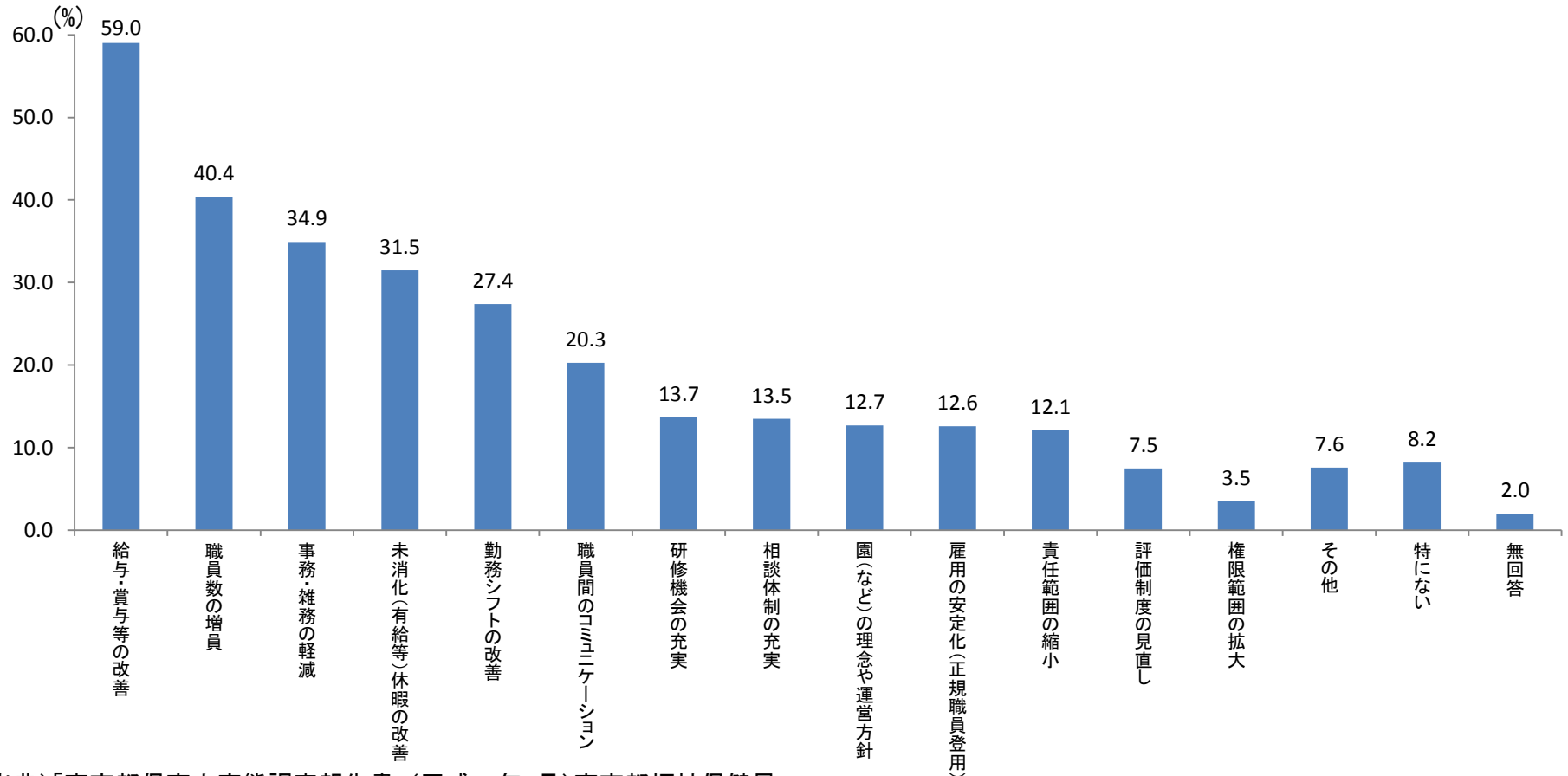
(出典) 平成25年社会福祉施設等調査(厚生労働省統計情報部)

※本調査は毎年実施しているが、経験年数については3年に1度調査しており、直近の調査結果は平成24年

(注) 保育士としての経験年数であり、別の保育所での経験も含まれる。

保育士における現在の職場の改善希望状況

○ 就業している保育士における現在の職場の改善希望としては、「給与・賞与等の改善」が6割(59.0%)で圧倒的に高い。次いで「職員数の増員」(40.4%)「事務・雑務の軽減」(34.9%)「未消化(有給等)休暇の改善」(31.5%)など、労働条件や職場への不満の高さが見られる。



(出典)「東京都保育士実態調査報告書」(平成26年3月)東京都福祉保健局

※ 平成20年4月から平成25年3月までの、東京都保育士登録者で現在保育士として働いている者(正規職員、有期契約職員フルタイム及びパートタイムを含む)を対象

※ 「現在の職場に対して日ごろあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか」(複数回答あり)との質問に対する回答

保育士1人1日当たりの主な業務の時間及び業務発生率

○ 特に保育士の負担となっているものは、会議・記録・報告となっている(1時間弱)。

主な業務内容	業務時間 (分)	発生率
室内遊び	62.6	100.0%
会議・記録・報告(施設内の活動)	52.5	100.0%
表現活動への支援	35.7	98.2%
愛着・スキンシップ	31.8	77.7%
食事摂取の援助	29.1	100.0%
挨拶・日常会話	26.4	98.6%
就寝の援助	24.9	77.0%
着替え	17.0	99.6%
連絡帳	13.8	93.3%
おやつ(食間食等)	12.4	100.0%
児童の行動への指導・関係調整	10.8	85.1%
移動時の誘導・見守り・介助 (障害児を除く)	10.4	99.3%

主な業務内容	業務時間 (分)	発生率
掃除	10.0	100.0%
保育の計画・準備・調整	8.8	100.0%
ミルク・離乳食等	8.2	40.8%
職員の行動	8.1	99.6%
登降園時のコミュニケーション	8.0	73.4%
降園時の送り出し	7.7	79.1%
保育の記録	6.8	60.6%
排泄の対応	6.6	87.2%
登園時の受け入れ	6.1	89.0%
訴えの把握・心理的支援	6.1	75.9%
園庭での遊び	5.9	86.2%

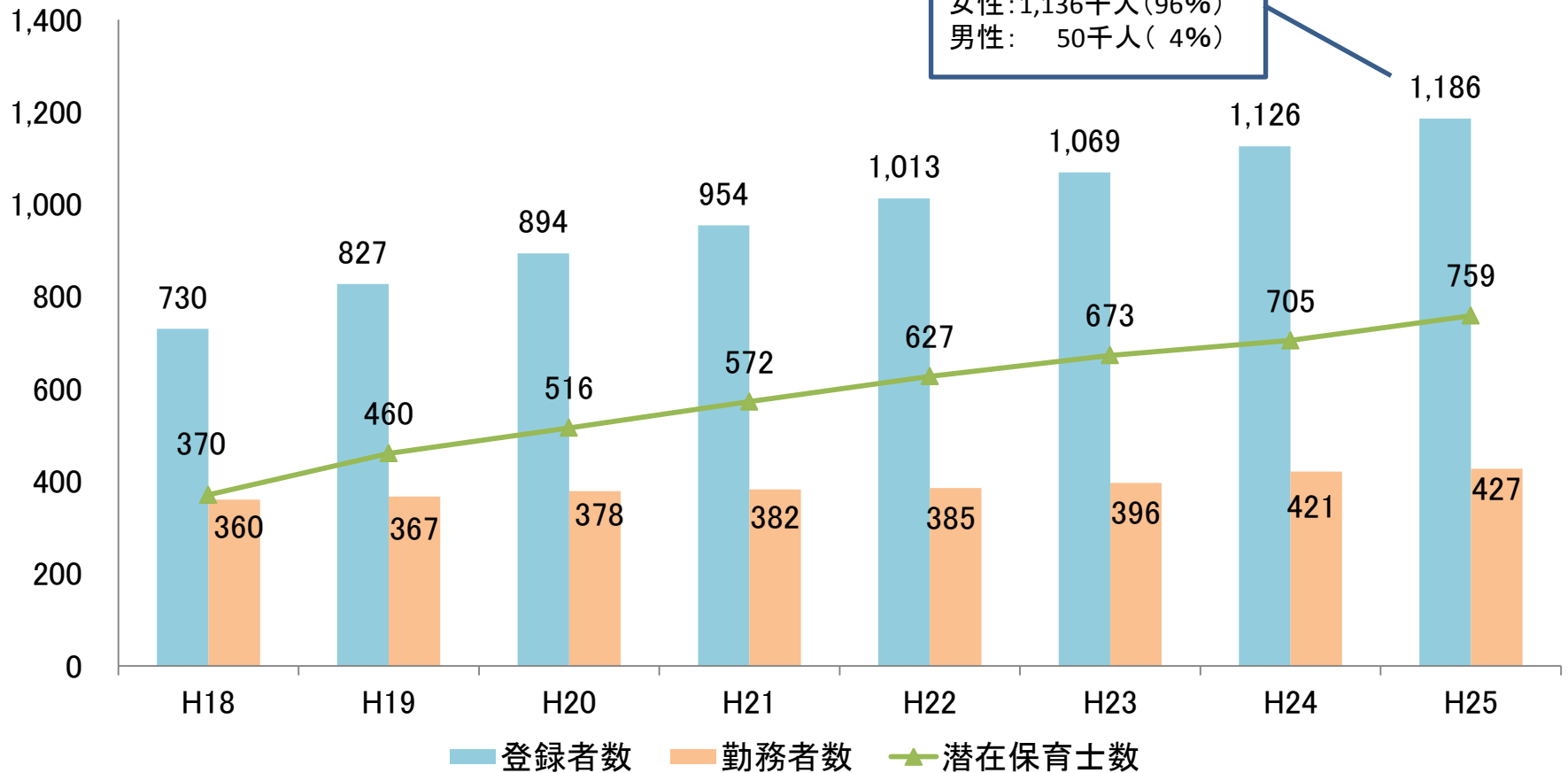
(出典)「新たな次世代育成支援のための包括的・一元的な制度」の設計に向けたタイムスタディ調査(H22 みずほ情報総研株式会社)

※職員1人1日当たりの業務時間が5分を超える業務のみを抽出

登録された保育士と勤務者数の推移

○ 保育士登録者数は約119万人、勤務者数は約43万人であり、潜在保育士（保育士資格を持ち登録されているが、社会福祉施設等で勤務していない者）は約76万人

(単位:千人)



出典: 登録者数: 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課調べ(各年4月1日)

勤務者数: 厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査」(各年10月1日)

(注) 勤務者数について、平成21年以降は調査対象施設のうち回収できなかった施設があるため、平成20年以前との年次比較は適さない。

(回収率 H21:97.3% H22:94.1% H23:93.9% H24:95.4% H25:93.5%)

※H23の勤務者数については、東日本大震災の影響で宮城県と福島県の28市町村で調査未実施である影響で少ない数となっているため、潜在保育士の数は67万人よりは少なくなることに留意。